

新刊案内

2022年
6月発行

気づく 立ちあがる 育てる

日本の性教育史におけるクィアペダゴジー

【著者】堀川 修平 埼玉大学、立教大学ほか非常勤講師



子どもが大切にされる場づくりを志向する「すべての実践者」へ「当事者」と出会い、新たな気づきを得る。時に批判を受け、「性的マジョリティ」としての自己のまなざし
が問い直される。そのような経験をしながら性教育実践を創り上げてきた3人の教師たちの語りから、こ
んにちのクィアペダゴジーのエッセンスを明らかにしていく。

【A5判・264頁・並製】
【発行】エイデル研究所
【定価】2,420円
【本体 2,200円+税10%】
ISBN978-4-87168-680-8
C3037 ¥2200E

【主な目次】

- 1章 「自己紹介」としての研究的位置づけの紹介
- 2章 「普通」の人たちにとっての同性愛者
・JASE設立当初の同性愛者のとらえられ方
・性教協における同性愛者のとらえられ方
- 3章 画期としての1987年と同性愛プロジェクトの誕生
・「アメリカ性教育研修旅行」の目的と旅順
・同性愛／同性愛者との邂逅
- 4章 認識を変えるきっかけとなった「アンケート問題」
・同性愛プロジェクト、始動
・猛省、そして、問われる教師たち
- 5章 「私は、エゴイストでナルシストです。」—木谷麦子の問い直し
・同性愛者のおかれている社会状況の再考
・「マジョリティとしての女性」という立場性を問い直す

- 6章 「カルチャーショック」と女性の自立—原田瑠美子の問い直し
・「ドキッ」とした経験
・「女性の自立」は誰の自立？
- 7章 「そこに生きる人たち」と科学との乖離—貴志泉の問い直し
・問われるセクシュアリティ
・当事者抜き「科学」の問い直し
- 8章 「アンケート問題」以降における同性愛プロジェクトの活動
・性教協全体を巻き込んで
・『新しい風景』という集大成
- 9章 子どもたちへ伝える知／子どもたちと問い直す知
・クィアペダゴジーとしての到達点と課題

*クィアペダゴジー…ヘテロノーマティブ（異性愛中心的な性規範）
な教育実践や学校のあり方を改革し、ジェンダー・セクシュアリティ
といった〈性〉に関わる権力性を問い直す教育実践のこと

ご注文は、お近くの書店・販売店へ

エイデル研究所 〒102-0073 東京都千代田区九段北4-1-9
TEL.03-3234-4641 FAX.03-3234-4644

注文書	取扱店	注文数	気づく 立ちあがる 育てる 日本の性教育史におけるクィアペダゴジー 堀川 修平（著）
		部	定価 2,420円（本体価格2,200円+税10%） 978-4-87168-680-8
		氏名／団体名	
		住所 〒	
		TEL	